

プロジェクト進捗管理シート

方針1 豊かさが実感できる暮らしの実現

6 誇りある暮らし実現プロジェクト

～景観・自然・文化に囲まれた「誇り」ある暮らしの実現～

総括マネージャー

企画振興部長

目 標

美しい景観や自然、文化を守り、育て、活かすことにより、豊かなライフスタイルを充実させ、信州人としての誇りを持って暮らせる地域の形成をめざします。

総 合 分 析

景観・自然・文化に囲まれた「誇り」ある暮らしの実現をめざし、5つのアクションによりプロジェクトを推進しました。

達成目標4項目のうち、2項目は「順調」、2項目は「努力を要する」となっています。

○「行政サポートによる移住者数」: 三大都市圏での相談やセミナーの実施、銀座NAGANOでの信州型自然保育など長野県の特長を活かしたセミナー・相談会を開催した効果等により、移住者が順調に増加している。

○「都市農村交流人口」: 農林業体験を活用した学習旅行の誘致等に取り組んだ結果、目安値を上回る結果となっている。

○「自分の暮らしている地域に誇りを感じる人の割合」: 「努力を要する」となったが、次代を担う若年層で評価が上がるなど、昨年度に比べて増加している。

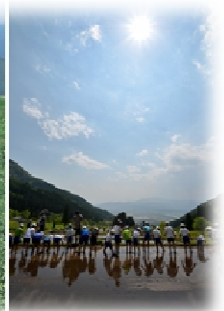
○「文化芸術活動に参加した人の割合」: 全体的に増加しているが、一部の分野への参加者が減少しているため、「努力を要する」となっている。

これらのことから、誇りある暮らしの実現に向けて、順調に進んでいる分野がある一方、さらに重点的に取り組むべき分野もあると考えられます。

～プロジェクト推進に向けての課題と今後の方向性～

人口の社会減に歯止めをかけるためには、住民が誇りと自信を持つことができる地域づくりを民間企業、NPO等と協働して進めることや大都市圏などからの移住支援・交流を活発に行っていくことが必要です。

このため、熱意ある集落の活動支援や地域づくりリーダーの確保・育成、信州の強みである豊かな自然環境の保全、伝統文化及び芸能の継承支援、文化芸術の鑑賞や発表の機会提供等を進めるほか、移住・交流に関しては、信州での子育てに憧れる世代、農ある暮らしに憧れる者など、ターゲットを明確にしたアプローチを行います。



ふるさとに還える
楽園信州
心が癒える・信州に住む

(ふるさと信州風景百選)

達成目標の進捗状況

※進捗区分 ○順調:目安値以上 ○概ね順調:80%以上100%未満の進捗
 ○努力を要する:80%未満の進捗 ○実績値なし:今年度実績値が把握できない
 ・進捗割合=(実績値-基準値)/(目安値-基準値)

指標名	年度	単位	基準値 (H23)	H25	H26	H27	H28	目標 (H29)	
行政サポートによる移住者数	目安値	人		600	700	800	900	1,000	
	実績値		456	510	763	927			
	進捗区分			努力を要する	順調	順調			
	【関連データ】 移住したい都道府県ランキング								
			H25	H26	H27	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> H18~H27 10年連続1位 </div>			
	1位	長野県	長野県	長野県					
	2位	静岡県	静岡県	千葉県					
3位	千葉県	千葉県	静岡県	出典:田舎暮らしの本(宝島社)調べ					
進捗状況の分析	三大都市圏で開催するセミナー等、田舎暮らし「楽園信州」推進協議会の取組や市町村の受入体制が充実してきた結果、移住者が順調に増加しています。また、移住希望地ランキングにおいても上位を維持しています。								
【目標設定理由】 現状の数値の2倍以上を目標に設定 【関連アクション】 アクション2	今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・三大都市圏(東京、大阪、名古屋)での移住相談 ・ターゲットを絞った移住相談セミナーの開催 ・移住コンシェルジュによる地域への受け込み支援 							
指標名	年度	単位	基準値 (H22)	H25	H26	H27	H28	目標 (H29)	
都市農村交流人口	目安値	人		560,000	570,000	580,000	590,000	600,000	
	実績値		546,544	608,073	599,351	604,427			
	進捗区分			順調	順調	順調			
	進捗状況の分析	グリーン・ツーリズムの推進や都市農村交流施設の整備等に対する支援、農林業体験を活用した学習旅行の誘致等により順調に進んでいます。							
【目標設定理由】 過去の増加傾向をもとに設定 【関連アクション】 アクション2	今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・県内各地で行われているグリーン・ツーリズム情報を集約 ・集約した情報をWebサイト「おいしい信州ふ〜ど(風土)ネット」に掲載し、信州の魅力を全国へ発信 							
指標名	年度	単位	基準値 (H21)	H25	H26	H27	H28	目標 (H29)	
自分の暮らしている地域に誇りを感じる人の割合	目安値	%		83.9	83.9	83.9	83.9	83.9	
	実績値		83.9	84.6	79.9	80.6			
	進捗区分			順調	努力を要する	努力を要する			
	進捗状況の分析	地域おこし協力隊等の若年層による各地での地域活動により、20歳代で評価が上がった一方、70歳代以上の評価が下がり、前年実績より上昇したものの、「努力を要する」という結果となりました。							
【目標設定理由】 現状の水準を維持又は上回ることを目標に設定 【関連アクション】 アクション1、2、3、4、5	今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・若い地域づくりリーダーの育成 ・美しい景観、自然環境の保全創造 ・文化振興施策の推進 							
指標名	年度	単位	基準値 (H21)	H25	H26	H27	H28	目標 (H29)	
文化芸術活動に参加した人の割合	目安値	%		64.0	65.5	67.0	68.5	70.0	
	実績値		62.5	59.9	62.4	64.9			
	進捗区分			努力を要する	努力を要する	努力を要する			
	進捗状況の分析	参加者は全体的に増加していますが、生活文化や美術分野への参加者が減少しており、「努力を要する」という結果となりました。							
【目標設定理由】 現状を上回る数値を目標に設定 【関連アクション】 アクション5	今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の専門分野からなる芸術監督団を配置 ・文化施設の整備による鑑賞環境の改善 ・県民芸術祭の開催 ・セイジ・オザワ 松本フェスティバルの開催を支援 							

**アクション
1**

(農山村の活性化支援)

伝統文化の継承や農山村ならではのライフスタイルの提案、地域に活力を与える多彩な人材の誘致など、市町村と住民が一緒になった「信州の宝」である美しい農山村の活性化を支援します。

【アクションの進捗状況】

「信州の宝」である美しい農山村を守り、活性化を図るため、県内5地区において、市町村と住民が一体となって行う地域（集落）ビジョンの策定及びビジョンの具体化に向けた取組を支援しました。

ビジョンの策定等に当たっては、モデル地区を管轄する地方事務所において、関係課（環境、農政、林務、商工観光等）の職員で組織する「現地支援チーム」を設置し、総合的な支援を行いました。

主な成果

●集落の“再熱”に向けた取組を総合的に支援

市町村と住民が一体となって行う集落活性化の取組を各部署が連携し、総合的に支援

集落“再熱”実施モデル地区支援事業採択地区数
H27年度:目標 8地区 ⇒ 実績 5地区

(取組成果)

○地域資源の活用

・大学との協働によるペンション村活性化の調査研究、交流ツアーの実施

○地域コミュニティの強化

・開放勉強室や子育て世代の交流イベント等を開催

○空き家対策

・地域住民と大学生との協働により、学生の活動拠点に改修



大学生によるペンション村活性化
施策の提案



地域の伝統文化を記録した冊子
を発行

**アクション
2**

(地域づくり人材の確保・育成)

「人の力」でふるさとを守るため、移住・交流を推進するとともに、地域づくりに取り組む人材の確保やリーダーの育成を推進します。

【アクションの進捗状況】

移住・交流を推進するため、移住希望者の多い三大都市圏において相談やセミナーを開催したほか、都市農村交流に関する情報発信を行う団体及び都市農村交流を目的とした学習旅行の誘致等を行う団体への支援を行いました。

特に、移住・交流の推進については、銀座NAGANOを活用して、創業支援や信州型自然保育など長野県の特長を活かしたセミナーの開催、ハローワークと連携した職業紹介など、子育て世代や若者層への情報発信を充実することにより、移住者の増加に取り組みました。

また、地域づくりに取り組む人材の確保やリーダーを育成するため、フィールドワークを通じて実践的に学ぶ「地域に飛び出せ！信州元気づくり実践塾」を開催したほか、地域おこし協力隊員の活動ステージに応じた研修等を実施し、隊員の定住・定着促進を図りました。

主な成果

●地域づくりリーダーの育成を推進

フィールドワークを通じて課題解決の手法を実践的に学ぶ「地域に飛び出せ！信州元気づくり実践塾」を開催
(H27年度塾生:20人)

塾生による地域課題の解決に向けた事業の立案件数
H27年度:目標 3件以上 ⇒ 実績 3件



地域に飛び出せ！信州元気づくり実践塾(フィールドワーク)

●ターゲットを明確にした移住交流施策を推進

～子育て世代や若者層への情報発信を充実～

- ・銀座NAGANOにおいて創業セミナーを開催
- ・信州型自然保育など長野県の特長を活かしたセミナーの開催
- ・ハローワークと連携した職業紹介
- ・楽園信州ホームページへの掲載情報の充実、フェイスブックの活用による情報発信の強化

行政サポートによる移住者、Iターン就職者
H27年度:目標 800人 ⇒ 実績 927人
相談件数
H27年度:目標 4,000件 ⇒ 実績 6,290件



銀座NAGANOでのU・Iターン転職セミナー

●農山村活性化に向けた都市と農村を交流促進

- ・都市農村交流施設等の整備を支援
- ・県内の都市農村交流に関する情報発信を行う団体及び学習旅行の誘致を行う団体を支援

都市農村交流人口
H27年度:目標 580,000人 ⇒ 実績 604,427人



秋の収穫体験

●地域おこし協力隊員の活躍を支援

- ・銀座NAGANOにおいて、市町村合同による募集説明会を開催
- ・協力隊員の活動やネットワークづくりを支援するため、活動ステージに応じた「初任者研修」や「スキルアップ研修」を実施
- ・県内の協力隊員と市町村職員参加による「地域おこし協力隊交流会」を開催

地域おこし協力隊員数
H27年度:目標 165人 ⇒ H27年度:実績 205人
(H28年3月31日現在の隊員数)
※北海道に次ぎ、全国で2番目に多い隊員数



地域おこし協力隊交流会

**アクション
3**

(美しい景観の維持創造)

豊かな自然や農山村の営みなどにより形成されている美しい景観の価値を維持・創造する取組を進めます。

【アクションの進捗状況】

信州の農村景観の保全・育成を図るため、美しい信州の農村風景を選定した「ふるさと信州風景百選」の活用による情報発信、案内看板の設置補助など美しい農村風景を展望できるビューポイント（視点場）整備の促進、風景の魅力を伝える風景の「語り部」の育成等を実施しました。

また、景観条例や景観計画の策定に係る情報提供・助言等の実施により、市町村の景観行政団体への移行促進を図りました。

主な成果

●ふるさと信州風景百選を活用した情報発信

H26年度に選定・発刊した「ふるさと信州風景百選」を活用し、県内外に向け、信州の美しい農村風景をPR

- ・冊子（有償版）増刷（H27年5月） 2,000部
（当初発行部数 無償版 2,000部、有償版 3,000部）
- ・専用ホームページの開設（H27年4月）
- ・出前講座 3回（小学校2校、高校1校）
- ・巡回パネル展 23箇所（県内19箇所、県外4箇所）



電子版ふるさと信州風景百選カレンダー
9月「番号75 風除けの松」（茅野市）

●ビューポイント（視点場）の整備を促進

美しい農村風景を展望できるビューポイント（視点場）の整備促進を図るため、案内看板の設置や駐車場の整備等を行う市町村等に対し補助

整備件数

H27年度：目標 10件 ⇒ 実績 10件(累計28件)



説明板及びベンチを設置
「菱野の棚田」(小諸市)

●風景の「語り部」を育成

ふるさと風景の成り立ちや歴史などの魅力を伝える「語り部」を育成する研修会等の開催

開催数

H27年度：目標 4箇所 ⇒ 実績 6箇所
参加者数：延べ239人



「語り部」育成研修(安曇野市)

●市町村の景観行政団体への移行を支援

市町村と住民が協働して、景観の保全や地域特性を生かした景観の創出を進めるため、市町村の景観行政団体への移行を支援

景観行政団体市町村数

H27年度目標（累計）：19市町村 ⇒ 実績 20市町村（県土の45%をカバー）

**アクション
4**

(身近な自然環境の保全創造)
多くの人々が豊かな自然とふれあうことができる身近な自然環境を
保全・創造します。

【アクションの進捗状況】

「人と生き物が共存する諏訪湖」を目指し、市町、団体等で構成する諏訪湖環境改善行動会議と協働して水草除去等の環境改善の取組を行うとともに、湖底の貧酸素対策の調査、検討を行うなど諏訪湖の水質浄化と生態系の保全に努めました。

荒廃が進んでいる里山については、森林づくり県民税を活用して地域が一体となって行う里山の集約化（森林所有者の同意取得）や間伐を進めることで里山の森林整備を集中的に実施しました。

また、山岳の環境保全と適正利用を目的に、民間からの寄付金を活用して、市町村や山小屋関係者が実施する登山道等の整備への支援を行うとともに、山岳関係者による長野県山岳環境連絡会を開催しました。

主な成果

●諏訪湖の浄化を推進（第6期諏訪湖水質保全計画(H24～28年度)に基づき推進)

○大量繁茂したヒシの除去（H27年度）

- ・水草刈取船による除去
 - ・諏訪湖環境改善行動会議及び関係団体によるヒシの抜き取り
- } 546トン除去



水草刈取船による除去

(取組成果)

窒素、リンを吸収したヒシの除去により水質浄化に寄与 ⇒ 窒素1.7トン、リン0.19トン相当を湖外に搬出

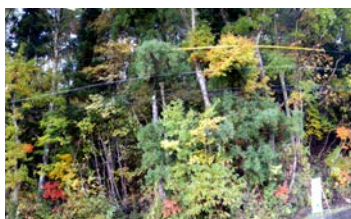
○「シジミがとれる諏訪湖」に向けた砂場を試験造成（H27年度）

- ・泥底より砂場の方がシジミが大きく成長することを確認

●信州の里山の森林づくりを推進

小規模・分散的で手入れの遅れた里山の森林整備を進めるため、森林所有者の同意取得（集約化）の推進や間伐の促進

間伐前



間伐後



里山の集約化	H27年度：目標	2,000ha/年	⇒ 実績	598ha/年
間伐実施面積	H27年度：目標	3,000ha/年	⇒ 実績	1,853ha/年

●民間との協働による山岳の環境保全を推進

- ・管理者が不明確な登山道等の維持管理を行う山小屋事業者等への支援
- ・行政機関(国、県、市町村)、山岳関係者、有識者による「長野県山岳環境連絡会」において、登山者レベルに応じた整備や適正利用のあり方、山域ぐるみの協働管理体制等を検討

施設等整備箇所数

H27年度:目標 35箇所 ⇒ 実績 35箇所



登山道の整備

アクション
5

(個性際立つ文化芸術の振興)

本県に数多く存在する個性際立つ文化芸術・文化財の継承と振興を進めます。

【アクションの進捗状況】

県内外の多くの方に優れた芸術文化に触れる機会を提供するため、セイジ・オザワ 松本フェスティバルの開催を支援したほか、県民文化会館とウィーン楽友会館との姉妹提携事業をより発展させ今後の事業の充実を図るため、H27年10月に長野県知事、ホクト文化ホール館長とウィーン楽友協会芸術監督との間で覚書を締結しました。

また、文化財の安定的・継続的な保護・継承を進めるため、保護すべき文化財の指定等を進めるとともに、所有者が行う文化財の修理・防災に関する取組等を支援しました。

主な成果

●セイジ・オザワ 松本フェスティバルを共催

小澤征爾氏とサイトウ・キネン・オーケストラを主体とする音楽家による世界最高水準の音楽鑑賞の機会を県民に提供

フェスティバル参加者数

H27年度:目標 90,000人 ⇒ 実績 83,272人



2015OMFオペラ公演

(c)山田 毅

●文化財の保存修理や防災に関する取組を支援

国・県指定等文化財の適切な保存・活用を図るとともに、持続的に後世に継承するため、所有者等が行う文化財の修理・防災等に要する費用の一部を助成

年度末文化財指定等件数

H27年度:目標 1,277件 ⇒ 実績 1,278件

文化財修理等補助件数

H27年度:目標 56件 ⇒ 実績 46件



坂上遺跡(富士見町)出土の土偶
(H27年度 国の重要文化財に指定)

●県内の国指定伝統的工芸品等をPR

伝統的工芸品産地の振興のため、全国の都府県により伝統的工芸品月間に開催される展示・販売・実演・製作体験を行う催事の経費の一部を負担
産地別伝統工芸品パンフレット・リーフレット※を8万部作成(H28.2)し、展示会等で活用
(※リーフレットは、英語・中国語版を新たに作成)

展示会等に参加した産地

H27年度:目標 3産地 ⇒ 実績 3産地